

レポート

- ソーシャルボンドによる調達資金の全額が対象プロジェクトに充当されるまで、資金の充当状況と裨益層にもたらす便益を当社のWebサイトで開示しています。
- 資金の充当状況とプロジェクトの裨益層にもたらす便益は下表及び別紙のとおりです。(令和7年6月30日現在)

対象事業	件数	資金の充当金額 ※1 (未充当金額)	裨益層	裨益層にもたらす便益 ※2	
				アウトプット指標	アウトカム指標
災害の威力を弱め、被害を最小限に抑える修繕事業	72件	67,971百万円	災害発生時における 高速道路利用者	別紙のとおり	
速やかな情報伝達によって利用者を守り、二次災害を防ぐための修繕事業	52件	26,337百万円			
災害に巻き込まれた利用者を安全に避難させるための修繕事業	3件	2,607百万円			
災害発生時の高速道路の閉塞を防ぎ、速やかな道路の復旧を可能にする4車線化事業	24件	23,085百万円	高速道路周辺地域 に居住する住民		
合計	151件	120,000百万円			

※1 端数処理の関係で合計が合わない場合がございます。

※2 国の国土強靭化基本計画やインフラ長寿命化計画の方針に沿った災害対策や老朽化対策を行うことにより、交通インフラの強靭化を図り、高速道路利用者や周辺地域住民へ便益をもたらすことに資すると考えております。